平成 30 年(2018 年) 9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書(3日目)

平成30年9月13日(木)

※1人当たり15分間(答弁を除く)

| | | | ※1人目にり15分削(合弁を除く) |
|----|---------------------------|--|--|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| 1 | 坂 井 浩 二 (なはの翼f協働) | 1 少子高齢化 対策について | 本市における少子高齢化の現状と課題について以下伺う (1) 本市在住 14 歳以下の年少人口について、 過去 10 年間の推移を伺う |
| | 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ) | | (2) 本市在住 65 歳以上の高齢者老年人口、過 去 10 年間の推移を伺う |
| | (貝川州ツか) | | (3) 少子化の進行に伴う本市への影響につい て当局の見解を伺う |
| | | | (4) 髙齢化の進行に伴う本市への影響につい て当局の見解を伺う |
| | | 2 にぎわい広 場への市場移 転について | |
| | | | 工事の対策について伺う (2) 9月7日に開催された住民説明会の周知 |
| | | | 方法について伺う (3) アーケードの整備について、従来違法建築 |
| | | | 物として整備は困難との見解を示していた が、どのような形で新整備に取り組む考えな のか当局の考えを伺う |
| | | 3 災害支援に ついて | 災害に見舞われた地域への支援について伺う (1) 被災地への職員派遣について、これまでの 取り組み状況について伺う |
| | | | (2) 東日本大震災で本市へ避難された方々の 現状について伺う |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、 関係部長 |

| 1,1 | | +W 20 + 2 \mathcal{1} | 20 FT (717) |
|-----|----------------------------------|-------------------------|--|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発 言 要 旨 |
| 2 | 當間 安原 (維新・無所属の会) 質問方式 総質問席のみ) | 1 新文化芸術 発信拠点施設 周辺道路について | 今月中に予定されている新市民会館の建設工事入札により、工事が着工されようとしているが、当初から懸念の材料の一つである自動車交通、歩行者通行を含む周辺環境整備事業について以下伺う (1) 現時点での一銀線の整備スケジュールについて伺う (2) 一銀線は、幅員の拡幅が検討されているが、それに伴う用地取得及び建物等の補償の進捗状況を伺う (3) 会館使用時、混雑解消のための交差点の右折帯設置の工事優先着工について伺う (4) 当局が考える周辺環境整備においての課題と市民への対応について伺う |
| | | 2 障がい者雇用について | (1) 手帳の確認などが不充分なまま不正に算入された障がい者雇用水増し問題について、中央省庁から発覚、地方自治体にも広がっている。早急に雇用実態を把握するべきである。以下伺う ① 当局の見解を伺う ② 本市の雇用実態について伺う (2) 上司や雇用主からの職場での障がい者への虐待が増加傾向にある。本市の現状及び当局の見解について伺う |

| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
|----|--------------|-----------------|---|
| | | 3 耐震化事業 について | 2011 年の東日本大震災から7年以上が経ったが、その後も地震や豪雨による河川の氾濫・土砂崩れ、そして、台風による災害が頻繁に起こっている。震度6強の地震に備えた耐震化が求められている。以下伺う |
| | | | (1) 学校施設の耐震化の現状と今後の対策に ついて伺う |
| | | | (2) 本市関連公共施設の耐震化の現状と今後 の対策について伺う |
| | | | (3) 上下水道管は、何をもって耐震性能を満た すのか、及び耐震化の現状と今後の対策につ いて伺う |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、上下水道事業管理者、関係部長 |

| | 般質問(3日目) | 半成 30 年 9 月 | 13 日 (木) |
|----|---------------------------|-------------------|---|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| 3 | 前 田 千 尋 (日本共産党) | 1 防災対策に ついて | 災害時における避難所の機能について |
| | | | (1) 避難所運営ガイドラインについて、当局の 見解と対応を問う |
| | 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ) | | (2) 身体を動かしやすい段ボールベッド等の 簡易ベッドが有効である。どのように対応す るのかを伺う |
| | | | (3) 女性トイレは男性よりも3倍必要と言われている。対応について伺う |
| | | | (4) 寝食分離をすることが、避難生活で多くの 効果があると言われている。対応を伺う |
| | | | (5) 日頃の訓練で、避難所運営を学ぶことが必 要ではないか。対応を伺う |
| | | | (6) 妊産婦、乳幼児の支援について伺う |
| | | おける文化財 保護と景観保 | (1) これまで本市で行ってきた文化財保護と 景観保護について問う(2) 壺屋におけるまちづくりの取り組みを問う |
| | | 3 男女共同参 画計画につい | (1) 本市の女性管理職の登用について問う |
| | | 7 | (2) 審議会への女性の登用について問う |
| | | | |
| | | | |
| | | | 【答弁を求める者】 副市長、関係部長 |

| | <u> 般質問(3月日)</u> | 平成 30 年 9 月 | 19 H (\kappa) |
|--------|---------------------------|--|---|
| 順 位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| 4 | 大浜 安史 (公明党) | 1 通学路と民間とのブロック対策について | (1) 小中学校通学の危険個所への対策について (2) 首里金城町通りの文化財指定を受けてい る地域住民の市道側沿いのブロック塀の対 |
| | 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ) | 2 「やる気・元 気旗頭フェス タ in なは」に ついて | 策について (1) 小・中学校の参加状況 (2) 「やる気・元気旗頭フェスタ in なは」の開催日については、平成27年6月定例会にて沖縄セルラースタジアムでの開催を要望したが、今回の会場は、どこに決まったのか伺う |
| | | 3 首里鳥堀町 市道鳥堀12号 について | 首里鳥堀町地域住民の念願であった鳥堀 12 号が開通し、開通式でも喜びの声があり、開通に伴い交通機関の充実を図る事で、住民からの要望があった。バス運行について伺う |
| | | 4 下水道行政 について | 首里石嶺町2丁目市道鳥堀 12 号開通に伴う周 辺の下水道整備について伺う |
| | | 5 地方独立行 政法人那覇市 立病院建替に ついて | 那覇市立病院は、昭和 55 年に建設され、今年で 39 年目を迎える。老朽化に伴い、建て替えの時期に来ている (1) 建替計画について伺う (2) 新那覇市立病院電源施設について |
| | | | (2) 利那朝巾立病院電原施設について 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長 |

| 旧云 | | TW 30 T 371 | |
|----|---|-----------------------------------|---|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発 言 要 旨 |
| 5 | 多和田 栄子 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ) | 保育行政に ついて | 沖縄県は、27 年間の米軍統治下の影響で、他 県と比べても小学校と併設する形で公立幼稚園 が作られ、就学前の一年間は幼稚園に入園すると いう認識が市民、県民に受け継がれて来ている。 そのため現在も5歳児は、小学校に併設する幼稚 園、こども園に通う率は全国一のレベルにあると 聞く。そのため、認可保育園では、5歳児クラス を設定していない園も多く見られ、設定されてい ても、4歳児より少なく設定がされている事があ る。そこで以下伺う (1) 認可保育園における5歳児保育について、 県外との比較も含めて、その現状と特徴を伺 う (2) 公立幼稚園から認定こども園に移行後の 5歳児の状況はどのように変わるのか伺う |
| | | 2 新学習指導 要領への対応 について | 小学校新学習指導要領の全面実施が平成32年度からスタートする。そこで以下伺う (1) 新学習指導要領の実施に向けた「小中一貫教育」の取り組み状況について (2) 新学習指導要領の実施に向けた、外国語教育の現状と今後の取り組みについて |
| | | 3 校区まちづ くり協議会に ついて | 地域課題の解決を図る事を目的に、校区まちづくり協議会が進められている。市内36の全小学校区に協議会の設立が計画されている。そこで伺う (1) 現在の事業の進捗状況と実績を伺う (2) 今後の取り組みについて |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長 |

| | 放頂向(3pp) | 平成 30 平 9 月 | 15 11 (714) |
|--------|---------------------------|-----------------------------------|--|
| 順 位 | 氏 名 (会派名) | 発 言 事 項 | 発言要旨 |
| 6 | 奥 間 綾 乃 (無 所 属) | 教育行政に ついて | 児童生徒の不登校問題について以下問う |
| | | | (1) 市内小中学校における不登校の児童生徒 数の実態を問う |
| | 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ) | | (2) これまでの取り組みと成果、今後の施策と 新たな課題について問う |
| | | 2 動物愛護行 政について | (1) 昨今、県内において動物虐待事件が相次いでいる。過去同様の事件を起こす犯罪者の中には人間に対する凶悪な重大事件に発展した事例がある。それを踏まえたうえで、本市の動物虐待に対する取り組みを問う |
| | | | (2) 犬猫殺処分の推移と本市譲渡事業の現状 について問う |
| | | 3 指定管理に ついて | 本市における指定管理について以下問う (1) 市施設の指定管理状況(件数並びに予算総 額など) について問う |
| | | | (2) 指定管理先決定の審査基準と審査員の選 任基準、並びに公募条件について問う |
| | | | (3) てんぶす館の指定管理状況について問う (指定管理先、期間、費用など) |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発 言 要 旨 |
|----|--------------|------|----------------------|
| | | | NAHAマラソン収支詳細と事務局運営につ |
| | | | 【答弁を求める者】 |
| | | | 市長、副市長、教育長、関係部長 |

| | 般質問(3日目) | 平成 30 年 9 月 | 13 日 (本) |
|----|---|-----------------------------------|---|
| 順位 | 氏 名 (会 派 名) | 発 言 事 項 | 発言要旨 |
| 7 | 前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ) | 第婦控除みなし適用について | (1) 市の保育料での寡婦控除みなし適用について、本来なら適用対象だったが一定期間受けられなかった市民がいることが報じられるなど、周知不足が指摘された問題について、市の対応の詳細を問う(2) 本市で寡婦控除みなし適用を実施している事業はいくつあるか。また、それらの事業での周知はどのようになっているか |
| | | 2 教育行政に ついて | 女子生徒が「月経(生理)中に水泳の授業を強制された」という事例が SNS 上であり、「疑問や不安の声が上がっている」との報道等があった本市の小中学校での現状と、市教育委員会の見解を問う |
| | | 3 現那覇市民会館及び間辺整備について | (1) 次の検討委員会での議論内容と進捗①那覇市民会館保存可能性等検討委員会②新真和志支所建設検討委員会(2) 当該土地は県有地であるが、県との協議はどうなっているか |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長 |

| | 般質問(3日目) | 平成 30 年 9 月 | 13 日 (木) |
|----|---------------------------|--------------|---|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| 8 | 宮平 のり子 (ニ ラ イ) | 教育行政につ いて | (1) 水泳授業における生理中・体調不良生徒の 対応について、生理中の水泳を強制している 学校はあるか |
| | 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ) | | (2) 沖縄県の「保健学習ノート」の副教材において、「生理中のプールは大丈夫」の記載があるようだが、事実か。また、学習指導要領にも同様な記載があるか |
| | | | (3) 「標準予防策」とはなにか |
| | | | (4) C型肝炎の感染原因は 64%「不明で」感染してもすぐ症状がなく、多数で感染してもわからないという実態がある。生理中のプールについて、感染管理の面で対策の必要はないのか伺う |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長 |

| | 放員的(3日日) | 平成 30 年 9 月 | 10 H (/14) |
|--------|--------------|------------------|---|
| 順 位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| | , , , | 発言事項 1 沖縄の経済とついて | 発言要旨 (1) 沖縄県は「米軍基地を返還し、跡地利用が進むことにより、人口20億人のアジア地域の中心に位置する立地を生かし、大きな経済発展が期待される」と強調し、基地は経済発展の最大の阻害要因と位置づけている。危険な普天間基地のための埋め立て承認の撤回を支持するのか、どうかであり、翁長知事の遺志を受け継ぎ、建白書の実現である。市長の見解を問う (2) 沖縄県経済の米軍基地依存度は、大きく低減した。復帰直後と現在の県民総所得に収入、IT関連収入の比率と観光関連収入、IT関連収入の生産額を問う (3) 米軍基地返還前後の経済効果・雇用効果と、予定されている基地の返還後の効果を問う (4) 反基地の民意の変化を期待するかのような、アメとムチの沖縄関係予算の増減、一括交付金の理不尽な減額に対する見解を問う (5) 国税納付も3,000億円を超えるようになり、沖縄は国へも貢献しているもらって、から特別な施しを、政府からもらる。沖縄県が納めている国税納付額の過去5年間の金額の推移を問う |
| | | | |

| | | | <u> </u> |
|----|--------------|-------------------------|--|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| | | 2 医療福祉行 政について | (1) 全国での無保険や自己負担を払えないなどの理由による、受診遅れによる死亡例を問う |
| | | | (2) 無料低額診療事業の利用状況と本市の薬 代助成実績を問う |
| | | 3 災害・防災 行政について | (1) 近い将来指摘されている、巨大地震津波へ の備えと、本市での被害想定を問う |
| | | | (2) 西日本豪雨被害や北海道の地震被害、相次 ぐ台風などで、災害ごみの処理が大問題にな っている。本市の「災害廃棄物処理計画」に ついて問う |
| | | 4 仮称・識名 公園計画につ いて | 予定地域は雑木林が繁茂しており、ハブが生息していると思われる。造成工事が始まる前に周辺の民間地にハブが逃げ出さないよう、ネット対策が必要ではないか。見解を問う |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長 |

| 一般質問(3日目) 平成 30 年 9 月 13 日(木) | | | |
|-------------------------------|---------------------------|---------------------------------------|--|
| 順位 | 氏 名 (会派名) | 発言事項 | 発言要旨 |
| 10 | 永山 盛太郎 (ニライ) | 教育行政に ついて | (1) スクールゾーンに関して |
| | | | ① 本年度の各スクールゾーン委員会から の要望、要請について伺う |
| | 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ) | | ② 2年以上要望がない委員会はあるか、その対応はどうしているのか |
| | | | (2) 給付型奨学金事業について伺う |
| | | | ① 本年度申込者数を伺う |
| | | | ② 認定者数を伺う |
| | | 0 知业公式 | 団吹込りにかけて最フタ中七乳男について |
| | | 2 観光行政について | 国際通りにおける電子案内板設置について伺 う |
| | | | (1) 他県の事例等について伺う |
| | | | (2) 設置に向けた問題点は何か |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長 |